

平成29年度 租税教育実践発表会

石巻地区租税教育推進協議会

次 第

1 開 会

2 開会挨拶

石巻地区租税教育推進協議会会長
(石巻市教育委員会教育長)

3 実践者紹介

石巻市立北村小学校 教諭 後 藤 清 丈

石巻市立中津山第二小学校 教諭 横 田 英 里

石巻市立飯野川中学校 教諭 今 野 睦 男

4 実践発表

5 質 疑

6 閉会挨拶

石巻地区租税教育推進協議会副会長
(石巻税務署長)

7 閉 会

実践発表会資料

石巻市立北村小学校

教諭 後藤清丈 1

石巻市立中津山第二小学校

教諭 横田英里 8

石巻市立飯野川中学校

教諭 今野睦男 15

平成29年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立北村小学校
教諭 後藤 清丈

1 はじめに

税金とは、国の財政を賄う収入の最も主要なものであり、私たちが健康で心豊かに生活を送るために大切な役割を果たすお金である。日本国憲法には、「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。」と明記されている。具体的には、教育や社会福祉、道路や公園の整備、警察や消防など、住みよい町をつくる国や地方公共団体の財源となる。しかし、大人でもどれだけの人が税金の種類や役割を認識し、納税しているのかは疑問である。

これまで、税について学習してきたのは、社会の学習で「租、庸、調」や「年貢」などであり、児童は、税を納めることの厳しさや苦しきといったイメージをもっている。具体的な「税の働き」については、6年生の社会科の下の教科書で扱う内容である。

そこで、児童の税に対する意識を高めるために、租税教室を実施することにした。税の大切さや必要性について関心を持ち、政治や国の将来について考えていけるようにしたいと考える。

2 児童の実態

本学級は6年生、男子6名、女子9名、計15名の児童が在籍している。事前に「税」に関するアンケートを行った。結果は次のとおりである。(すべて複数回答あり)

1. 「税」と聞いてどんなイメージをもちますか？

- ・お金をはらうこと (5) 年貢 (7) ・値上げ
- ・働いたり、布をわたしたりする。(2)

2. 「税」の種類で知っているものはなんですか？

- ・消費税 (13) ・租、庸、調 (5) 所得税 関税

3. 税金はどこに納められると思いますか？

- ・銀行 (4) ・国 (8) ・市 (2) ・県 ・警察

4. 税金は、何に使われていると思いますか？

道路を作る (4) 店を作る お年寄りのために使う 病気の人のため
復興のため (5) 災害の支援 (3) わからない 学校を建てる

5. 税金の使い道はどこで決めていると思いますか？

偉い人 (3) 市役所の人 総理大臣 (3) 市長 知事 (3) 国 (3) 市 天皇
議員 (2) わからない

6. 税金は必要だと思うか？

必要 (15)

- ・復興のために必要 (5) ・ないと道路など作られないから (3)
- ・貧しい国の人たちのために必要 (3) ・私たちの生活のために必要
- ・災害が起きたとき助けてもらえない ・なんとなく (2)

7. 税金について知りたいことは？

税金の使われ方 (9) 税金の種類 (7) 税金はどこに行くのか (3)

なぜ、税金があるのか (2) なぜ、税金がうまれたのか 税金がないとどうなるのか

税金はだれが決めているのか (3) なぜ税金がだんだん上がっていくのか

1年でどれくらいの税金があつまるのか 税金の使い方はだれが決めているのか (2)

児童は、税金について詳しく学習していないため、関心が低い。歴史の学習で習った「租、庸、調」や年貢のイメージが高い。税金の種類についても、自分たちと直接かかわりのある消費税については、知っているが、それ以外の税金について、名前すら知らない児童がほとんどである。それ以外の基礎的な知識についても、認識が低い。ただ、税金についてはすべての児童が必要と感じており、漠然とではあるが、税金は、自分たちの生活のために、活用されているであろうということを感じているようだ。この学習を通して、税金についての正しい理解を深め、納税者としての意識を高めていきたい。

3 指導にあたって

指導にあたっては、次の3点について留意していく。

- ①社会科の歴史や政治の学習の中で「税金」に関わる単元を意識して取り上げ、税金に触れさせながら学習に取り組みさせていく。
- ②税務署からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで税に関する専門的な知識を学び、税金についての理解をより深めていく。
- ③学習した内容を新聞や絵はがきなどで表現し、納税義務と税に対する適正な用途についての意識を高めさせるようにする。

4 指導計画（3時間扱い）

| 時間 | | 学習内容 |
|-----|------|---|
| 時間外 | | 「税に関するアンケート」 ・アンケートに記入する。 |
| 1 | 租税教室 | 「実践授業」 租税教室：わたしたちの生活と税 ※ゲストティーチャー 法人会 青年部 |
| 2 | 事後指導 | 「租税教室を終えて」 ・税について分かったことを新聞にまとめる。 |
| 3 | 事後指導 | 「税に関する絵はがきコンクール」 |

5 社会科との関連

(1) 『日本の歴史』においておさえさせた語句や内容

○天皇中心の国づくり「大化の改新と天皇の力の広がり」

- ・班田収授の法＝戸籍と計帳を作成し、土地を人民に貸し与え、それをもとに課税した。
- ・「租庸調」＝税や労役を課す制度を改革し、人々に「租庸調」の税を納めさせた。
- ・平城京のにぎわいを支えるため、地方の人々が重い税を納めさせられた。

○武士の世の中「人々のくらしと身分」

- ・秀吉の太閤検地＝どの土地をどの農民がたがやし税を納めるかを検地帳に記した。
- ・「年貢を納める」ことに反抗し、百姓一揆が起きた。
- ・百姓は五人組というまとまりをつくり、「収穫の半分にもなる重い年貢」を納めさせられた。
- ・明治政府の諸政策「地租改正」＝土地の価格の3%を現金で納める。

(2) 『わたしたちの生活と政治』においておさえさせたい語句や内容

○わたしたちの願いを実現する政治

- ・「税金の働きを調べる」
- ・国民の義務「納税の義務」



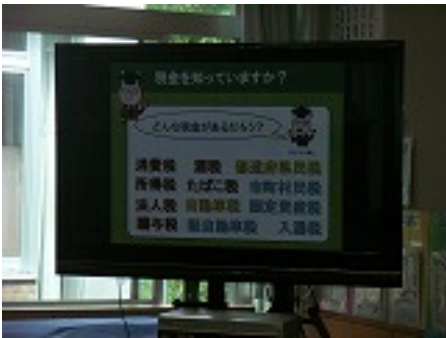
6 実践内容

【租税教室：わたしたちの生活と税】

(1) 目標：税の種類や意味、使われ方などを知り、税に関する関心を高める。

(2) 実施期日：平成29年8月29日（火）

(3) 実践の様子

| 段階 | 学習活動 ○発問 ◎支援 ・児童の反応 | 学習の様子 |
|----|---|---|
| 導入 | 1. 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">税金について理解を深めよう。</div> 2. ゲストティーチャーの紹介 ・法人会についての説明 |  |
| 展開 | 3. 税金の種類について知る。 ○「知っている税の名前を発表しましょう。」 ◎子どもたちから出なかった税金についてもどんな税なのかの説明を加え、紹介する。 ・「消費税」「増税」「印税」「脱税」 ○税の種類や納め先などについて話を聞く。 ○各税金がどこに納められるか、国税・地方税にわけて説明する。 ・50種類もあるの。 ・聞いたことがないものばかりだ。 ・種類によって、納め先が違うんだ。 4. 納税の義務と税金の使い道について知る。 ○「どうして税金を支払うのでしょうか。」 ◎掲示物を活用して、身近なことに税金が使われていることをわかりやすく説明する。 ◎税金を払うことは国民の義務であることを理解させる。 ・生まれたばかりの赤ちゃんも税金を払わなければならないんだ。 ○税金はどんなことに使われているのでしょうか。 ◎掲示物を活用して、身の回りの様々なものが税金を活用していることを理解させる。 |  <p>私たちの暮らしと税金について</p>  <p>税金の種類について</p> |

(2) 「税に関する絵葉書コンクールへの参加」

児童の作品



8 成果と課題

- 租税に関する理解が深まり、自分たちの身の回りのものの多くが、税金によって賄われていることに気付くことができた。
- 「税金がなくなったら、どんな生活になるのか」を理解することによって、納税の義務に対する意識が非常に高くなった。
- ゲストティーチャーによる授業を実施したことで、児童が知らなかった税に関する専門的な知識に触れることができ、税に対する意識が高まった。
- それまでなんとなく、税金は必要と感じていたが、具体的な使われ方を理解したことで、税金の必要性をより感じることができた。
- 税についての興味・関心は今回の租税教育で高まったが、今回だけの授業で終わらせるのではなく、将来、児童が納税者として、国民の義務を果たしていくためにも、今後も機会を見つけ継続的に指導していく必要がある。

9 実践を振り返って

今回、租税の学習を行い、あまりにも子どもたちが税に対して認識していないことに驚き、あらためて、租税教育の必要性を強く感じた。現在、大人でもなかなか税金の仕組みをしっかりと理解している人は少ない。社会科で税については少し触れるが、今回のように詳しく説明してもらうことはなかなかない。小学校のうちから、少しずつ税金について理解させていくことで、将来、大人になった時に納税がなぜ必要なのかを意識して、税金を納めることができると思う。私自身も、大変良い勉強になった。このような学習の機会をいただき、税務署の方々に感謝している。

平成29年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立中津山第二小学校

教諭 横田 英里

1 はじめに

私たちの暮らしを支えている施設やサービスは、私たちが支払う税金でその運営が成り立っている。国民の生活を支えるために、税はなくてはならないものであり、そのため、税は私たちの生活と最も深く結びついているものである。現在、私たちの暮らしは所得税や住民税、法人税や消費税などといった形で、50種類以上の税を納めることで支えられている。しかし、児童にとっては、税という言葉投げ掛けても身近に感じることはあまりないのが実態である。そのため、自分たちの暮らしと税が密接な関係にあることに気付いていない児童が多い。

今回の学習を通して、自分たちの暮らしと税金との関わりについて関心を持ち、国民生活の安定と向上を図るために、税は大きな働きをしていることを具体的に考えるとともに、社会の一員として生きていくという意識の高まりを期待したい。

2 児童の実態（男子6名、女子7名 計13名）

課題に積極的に取り組む児童が多い。しかし、進んで物事を考えたり、考えたことを伝えたりするということが苦手だと感じている児童もいる。今回、租税教育を行うに当たり、税金について下記の内容でアンケート調査を実施した。

(平成29年9月4日実施)

| | 質問事項 | 回 答 |
|---|--------------------------------------|---|
| 質問 1 | 「税」という言葉を知っていますか。 | はい (13名) いいえ (0名) |
| 質問 2 | 「はい」と答えた人は、どのような種類の税を知っていますか。(複数回答可) | 消費税 (13名) 車の税金 (2名) |
| 質問 3 | 集められた税は、どこに納められていると思いますか。 | 国 (7名) 支所や石巻市役所 (2名) 銀行 (3名) 分からない (1名) |
| 質問 4 | 税金は何に使われているか、知っていることを書きましょう。(複数回答可) | 店や学校を建てる (7名) 銀行で集めている (3名) 石巻市の復興 (5名) 分からない (2名) |
| 質問 5 | 税金は必要だと思いますか。 | はい (11名) いいえ (2名) |
| <p><「はい」と答えた児童の理由> みんなが困るから。復興に使われているから。学校などの建物が建てられないから。分からない。</p> <p><「いいえ」と答えた児童の理由> 家で支払う負担が増えるから。買い物するときに少しでも安い方がいいから。</p> | | |

以上、アンケートの結果から、「税」という言葉については学級の全員が聞いたことはあるが、ほとんどの児童は消費税以外の税を知らないということが分かった。また、

税がどこに集められているのか、税が何に使われているのかについては、回答したものの自信がない児童が多く、税の使い道に関しては認識がないと考えられる。

税の必要性に関しては、85%が「必要」と回答しており、なくてはならないものだと考える児童が多い。一方で、15%の児童は「不必要」と回答しているが、自分たちの負担が増えるから払いたくないという漠然としたイメージしかない。

以上をまとめると、「税」は必要なものであると考えているが、具体的にどのように必要なのかについてはよく分かっていない実態があると考えられる。

3 指導に当たって

児童の実態から、指導に当たっては以下のことに留意して学習を進めていきたい。

- 税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする。
- 国や県、市によって行われている災害復旧の取組、地域開発などに必要な費用は税金によってまかなわれていること、また、それらは国民によって納められていることなどを理解し、税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする。

4 総合的な学習の時間との関連

○命を守る防災

- ・石巻市の防災対策に、どのように税金が使用されているのかを調べる。
- ・東日本大震災の災害復旧に、どのように税金が使用されているのかを調べる。

5 指導計画（2時間扱い）

| | 学習内容・学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準 |
|--------------------|--|--|---|
| 事前指導 | ○事前アンケートの実施 | | |
| 「税」について考えよう (1) | ○石巻税務署の方を講師にお招きし、租税教室を行う。そこで、税が国民の生活に密接に関わっていることや税の必要性について理解する。 ○税がない生活だと、どうなるかをまとめる。 | ・視聴覚教材（DVD）を活用することで税が国民の生活と密接に関わっていることや税の必要性などについて理解させる。 | （知識・理解） 人々の願いを実現するための費用には税金が使用されており、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。 |
| 私たちの暮らしと税金 (1) | ○石巻法人会青年部の方々を講師にお招きし、石巻市ではどのように税金が使用されているのか、また、学校生活にはどれだけの税金が使用されているのかを理解する。 | ・石巻市法人会青年部の方のお話を聞いて、自分たちの住む石巻市の税金について考えさせる。 | （知識・理解） 自分たちの生活と税の関わりについて理解している。 |

6 実践内容【租税教室】




(1) 目標


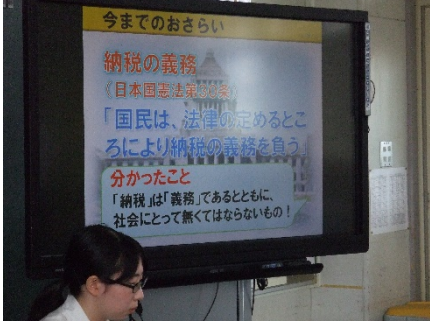

自分たちの生活と税が密接に関わっていることを知り，税の必要性について理解する。

(2) 実施期日：平成29年9月8日（金）

(3) 対象：石巻市立中津山第二小学校 第5学年 13名

(4) 本時の展開

| | 学習活動と児童の反応（・） | 学習の様子 |
|----|--|--|
| 導入 | <p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分たちの生活と税金との関わりを考えよう。</p> </div> <p>2 外部講師から税に関する話を聞くことを知る。</p> |  |
| 展開 | <p>3 外部講師の説明を聞き，税金について考える。</p> <p>(1) 児童が知っている税金の名前を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税ではないんだ。 <p>(2) 税金は誰が納めるものかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもは払わなくていいのでは？ ・税金を納めるのに，年齢は関係ないんだね。 <p>(3) 学校と税金との関係を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で使う物のほとんどには，税金が使われているんだね。 <p>(4) 税金の種類を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金の種類は，50種類以上もあるということを初めて知った。 <p>(5) 外国の税金について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国にも税金があるんだ。 ・外国には日本にはない税金があるんだね。 | <p>○税金とは何かということを知る。</p>  <p>○学校の備品や使用している教科書は税金で購入していることを知る。</p>  |

| | | |
|-------------|--|--|
| 展 開 | <p>(6) 税金の使い道について知る。</p> <p>4 DVDを視聴し、税の必要性を考える。</p> <p>(1) DVD「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴する。</p> <p>(2) 税金がなくなってしまうと、どのように困るのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金がないと、今まで当たり前を受けていたサービスが受けられなくなってしまうんだ。 ・公園がなくなったら困るな。 <p>(3) 税金を支払いたいかどうか、自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金がなくなってしまうと、大変だから払いたい。 ・税金が必要だと分かったから、払い続けたい。 <p>(4) 国民の三大義務を知る。</p> <p>(5) 1億円の重さを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに重たいんだね。 ・税金は大切に使ってほしいな。 | <p>○税金の使い道がどのように決まっているのか知る。</p>  <p>○納税の義務について知る。</p>  <p>○一億円のレプリカを持ってみる。</p>  |
| ま と め | <p>5 学習のまとめをし、学習感想を発表する。</p> | |

7 租税教室実施後の感想

あなたの考えを書いてみよう。

私は小学生で1人あたり、1年間に約86万3千円もかかっている
ことにおどろきました。また、税金はいらないと思、ていましたが、
税金が無、い、消火や救急車を利用した入がほらたり、
信号が無、く、な、り、て、大、変、な、こ、と、が、た、く、さ、ん、あ、る、な、あ、と、思、い
ました。

あなたの考えを書いてみよう。

税金は初め、自分たちの負担になるのでお金がと、たい、ない
と思、て、い、ま、し、た、。、で、す、が、。、税、金、が、な、い、と、自、分、た、ち、が、通、っ、て、い、る、学、費、な、ど、も
全、く、自、分、の、家、で、は、ら、わ、な、く、て、は、な、ら、な、い、の、で、。、税、金、ほ、ど、と、も、大、切、
な、ん、だ、と、い、う、こ、と、を、く、わ、し、く、知、る、こ、と、が、で、き、ま、し、た、。
税金を払い続けて、みんなで助け合、っ、て、い、き、た、い、で、す、。

あなたの考えを書いてみよう。

私は、今まで税金なんかいら、な、い、と、思、て、い、ま、し、た、。
でも、税金の勉強をとおして、税金がなくな、ら、な、ら、ば、
教科書や道路などが有料になることが分か
りました。私もきちんと払、っ、て、い、き、た、い、で、す、。

あなたの考えを書いてみよう。

今日、税金のことを学びました。
税金がなければ、今、無料である公共サービスもお金がかか
ると、ごみも収集してもらえず、公園もなくな、っ、て、し、ま、う、な、ど、
いろいろ大変だと思、い、ま、し、た、。、また、税金は国にと、っ、て、と、も、大、切、
な、物、だ、と、い、う、こ、と、も、今、税金にお世話に、な、っ、て、い、る、と、分、か、り、ま、し、た、。

8 第2時の児童の活動の様子

- 石巻法人会青年部の方々を講師に迎え、私たちの暮らしと税金についてご指導いただいた。消防署や警察署、また学校等の公共施設にはたくさんの税金が使用されていることを理解した。



- 石巻市の税金がどのように使用されているか知った。特に、東日本大震災以降、土木費が多く支出されていること、また、それらは東日本大震災で壊れた道路や建物を修復する費用になっていることも理解していた。



9 まとめ（実践を終えて）

- ・ 石巻税務署の方のお話やDVD，具体物（1億円のレプリカ）を活用した学習は分かりやすく，児童は関心をもちながら税金の必要性を理解することができた。
- ・ 税金の必要性を考えさせるDVD（税金がなくなった世界のアニメ）の視聴は，納税の大切さを考えさせる上でとても効果的だった。
- ・ 租税教室の後にも，石巻市法人会青年部の方々から石巻市では税金がどのように使われているかについて教えていただいたことで，自分たちの身近な地域での税について考え，学習を深めることができた。
- ・ 今後も総合的な学習の時間に，石巻市の防災対策や東日本大震災の災害復旧にはどのように税金が使われているのか調べる活動を継続し，自分たちの住む地域が税金のおかげで復興してきていることを実感させていきたい。

平成 29 年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立飯野川中学校

教諭 今野 睦 男

3 指導にあたって

私たちの社会を支える税の必要性について考えさせ、理解させた上で、「納税の義務」を果たし、「持続可能な社会」の形成に貢献できる社会の一員としての資質を向上させていきたいと考える。そこで以下の手立てで、指導にあたっていく。

(1) 税についての関心を高める。

様々な資料や動画の活用

- ①国税庁>税の学習コーナー>ビデオライブラリー>ご案内します アナザーワールドへ
- ②中学校社会科用学習資料『私たちの暮らしと税』平成29年度版

(2) 税についての理解を深める。

教師の授業（私たちの生活と財政）

- ①財政の仕組み（歳入・歳出）
- ②様々な税金（税の種類）
- ③税の公平性（累進課税）

(3) 納税者としての意欲を高める。

関係機関との連携

- ①中学生の「税についての作文」
- ②ゲストティーチャー（以下G T）による出前授業

4 指導計画 【単元名 「税について考える」 5時間扱い】

| 時間 | 目標 | 具体的な学習活動 | 指導上の留意点 |
|-----------|-------------------------------------|---|--|
| 1 | ・財政や税の仕組みを知り、税金に対する関心を高める。 | ・動画から財政や税の仕組みを知り、関心を高める。 ・動画の内容について、資料などを活用し、補足説明し、関心を高める。 | ・動画については、国税庁>税の学習コーナー>ビデオライブラリー>ご案内します アナザーワールドへを活用する。 ・資料については、中学校社会科用学習資料『私たちの暮らしと税』平成29年度版を活用する。 |
| 2 | ・財政の仕組み（歳入・歳出）、税の種類についての理解を深める。 | ・教科書や資料を通して、財政の仕組み（歳入・歳出）、税の種類についての理解を深める。 | ・資料については、中学校社会科用学習資料『私たちの暮らしと税』平成29年度版を活用する。 |
| 3 | ・累進課税による税の公平性や逆進性についての理解を深める。 | ・所得税や相続税には、累進課税の方法が採られ、消費税などの間接税には、税負担の逆進性があることについて理解を深める。 | ・「公正」の観点からより良い税の課し方について考える。 |
| 4 | ・税についての個人のまとめ等を行い、納税者としての意欲を高める。 | ・持続可能な社会の実現のため、税についてどんな工夫をしたらよいか考える。 ・「税についての作文」を書く。 | ・「税についての作文」については、夏季休業中の課題とする。 |
| 5 (本時) | ・税について考えたことをグループで共有し、納税者としての意欲を高める。 | ・G Tを招き、「なぜ税金はおさめなければならないのか」を考える。 | ・G Tから講話をいただき、生徒の発表にコメントをもらう。 |

5 実践内容 (※5時間目：G Tを招いての実践授業から 平成29年9月8日6校時実施)

| 段階 | 教師の働きかけ | 形態 | 学習活動 | 具体的な指導や留意点 ※資料 |
|-----------|--|-----|--------------------------------------|---|
| 導入 3分 | 1 前時の学習を振り返らせる。 | 一斉 | 1 自分の記入した内容や友人が記入した内容を見て学習内容を振り返る。 | ・前時の学習課題 「持続可能な社会の実現のため、税についてどんな工夫をしたらよいか」 |
| 展開 42分 | <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題 「なぜ税金はおさめなければならないのか」(まとめ) </div> | | | |
| | 2 G Tによる講話を聞かせる。 | 一斉 | 2 G Tによる講話を聞く。 | ・G Tと事前に打ち合わせを行い、講話内容及び流れを確認する。 |
| | 3 G Tの講話を受け、学習課題について、考えさせる。 | 個人 | 3 G Tの講話を受け、学習課題について、考える。 | ・前時の資料等も参考にさせる。 |
| | 4 学習課題 について考えたことを発表し、意見をまとめさせる。 | 小集団 | 4 学習課題 について考えたことを発表し、意見をまとめる。 | ・小集団の話し合いの様子を見守り、質問等があれば、対応する。 |
| | 5 学習課題について考えたことをグループごと、全体で発表させる。 | 一斉 | 5 学習課題について考えたことをグループごと、全体で発表する。 | ・発表者側 全体に聞こえるように発表する。 ・聞く側 発表する人を向く。 |



・最後にGTより、講評をいただく。



学習課題 「なぜ税金はおさめなければならないのか」(まとめ) グループで協議の結果
(※原文のまま)

- 1班** ・税金は人間としてある程度不自由にならないために納めなければいけないものだと思います。
・国民の生活を便利にするため。
- 2班** ・国や人のため。
・税があることで少しずつ払わなければならないことがひとりひとりのおかげで道路の整備や学校の教育費などのお金をまかなっている。
- 3班** ・国の経済や衛生環境をより良く保つため。
・安心安全に過ごせる環境を造るため。
- 4班** ・国民が不自由なく安全に生活を送るため。
・税がないと国が成り立たないから。
・国の財政を維持し、衰えさせないため。
- 5班** ・最終的には自分たちのためになる。税金を納めなければ、今まで税金でまかっていたものもまかなえなくなるから、結局自分たちに周ってくることだと思うから。
- 6班** ・国民の一人一人が安心して安全な生活を送ることができるようにするため。
- 7班** ・安全、安心な社会をつくっていくため。
・これからも生活していくため。
・自分の住んでいる環境を整えるため。
・日本国民のため。
- 8班** ・日常生活で税から成り立っているものがたくさんあるから、税がなくなったら、不便になると思いました。
・国民の生活を安定させるため。

終末
5
分

6 本日の学習の振り返りを
行わせる。

個人
↓
全体

6 本日の学習の振り返りを
行う。

・本日の学習について、学んだことを
何名かの生徒に発表させる。

6 生徒の感想等から

授業の終末に、あなたにとって「税」(税以外で)とは何か、漢字1文字とその理由について考えさせた。以下はその漢字とその理由である。(※原文のまま)

| 生徒名(男女別) | 漢字 | 理由 |
|----------|----|---|
| A・S(男) | 平 | 国民が誰でも平等に背負わなければいけない大切な義務であると考えたから。 |
| I・T(男) | 国 | 国民のためにあるから。 |
| O・T(男) | 安 | 安全・安心のため。 |
| K・K(男) | 将 | (無回答) |
| K・K(男) | 生 | 生きていくためにはなければいけないものだから。 |
| K・K(男) | 税 | 税金といえば、税だと思うから。 |
| K・T(男) | 必 | 税は必要不可欠なものですが、税が原因で色々な問題も起きている。 |
| G・G(男) | 神 | 人々が協力し国を支え合っている。これほどまで素晴らしいことはない。 |
| S・M(男) | 国 | 税金は国のためにいろんな役に立つ。 |
| T・S(男) | 必 | 国や人々にとってなくてはならないものだと思ったから。 |
| C・K(男) | 生 | 税金がなくては生きていけないから。 |
| M・S(男) | 生 | 税金がなければ、生活ができないし、生きていけないから。 |
| M・T(男) | 生 | 税は日常生活や生きる上でとても大切なことだと思った。 |
| Y・H(男) | 支 | 税金があることにより、学校や病院に行けるんだと思いました。 |
| W・D(男) | 豊 | 豊かな生活をするために必要だから。 |
| A・N(女) | 安 | 税金があることによってたくさんの人が安全に暮らすことができると思ったから。 |
| A・M(女) | 為 | 人の為、国の為、すべてにおいて、税金は様々な事に活かされていると思ったから。 |
| I・M(女) | 生 | 生きていく為には大切なものだから。 |
| E・A(女) | 支 | (無回答) |
| E・M(女) | 助 | (無回答) |
| O・H(女) | 安 | 国民の生活が安定し、安心して暮らすために、なくてはならないものだと思ったから。 |
| K・Y(女) | 支 | 私たちの生活、国を支えてくれていて、これからも支えてくれるのに必要だから。 |
| K・K(女) | 国 | 私たちが国のために税金を納めていって、この国が成り立つと思いました。 |
| S・C(女) | 国 | 国のためにもあって、国のためにもあるから、国全体に必要なと思った。 |
| S・A(女) | 国 | 国民一人一人が納めることによって安全・安心して暮らせるから。 |
| S・A(女) | 人 | 人がいなければ、払えないし、支え合ってもいけないから。 |
| T・A(女) | 支 | 国民が税金を払うかわりに国が日本全体を支えてくれていると思うから。 |
| T・S(女) | 心 | やっぱり税は必要だと思いました。 |
| C・R(女) | 助 | 国や人を助けるために役立っているから。 |
| N・W(女) | 心 | (無回答) |
| W・A(女) | 人 | 税金は、国民の安全、環境などを考えてつくられたから。 |

7 成果と課題 (○成果 ●課題)

○事前にプログラムされた指導計画を立案することで、円滑に指導を行うことができた。

○様々な手立てを活用し、生徒の関心や意欲を高めることができた。

●中学校社会(公民科)との指導計画にどのように折り合いをつけていくが必要である。

●G Tと事前の打ち合わせで、指導計画をもっと綿密に練ることが必要である。